

経営比較分析表（令和5年度決算）

埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	0.48	100.00	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,859	38.64	462.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
86	0.01	8,600.00

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
前年度と比べ、83.31%増加した。他会計繰入金3,878千円の増加を主な要因として、総収益が55.8%増加したことや、総費用が令和5年度が打ち切り決算であったことから、1,723千円、25.1%減少したことが主な要因である。

④企業債残高対事業規模比率
地方債現在高と一般会計負担額が同額のため、例年0%となっている。

⑤経費回収率
前年度と比べ、10.6%増加した。令和5年度の汚水処理費は5,050千円（対前年度比1,571千円減）、となっており、打ち切り決算が減少要因となっている。汚水処理費の減少が大きかったことから、経費回収率の増加となった。

⑥汚水処理原価
前年度と比べ、117.09円減少した。減少要因としては打ち切り決算により汚水処理資本費が前年度比1,571千円減となったためである。

⑦施設利用率
前年度と比べ、5.71%減少した。これは前年度と比べ有収水量が816m³減少したことが主な要因である。

⑧水洗化率
設置後にすべて使用開始しているため、100%となっている。

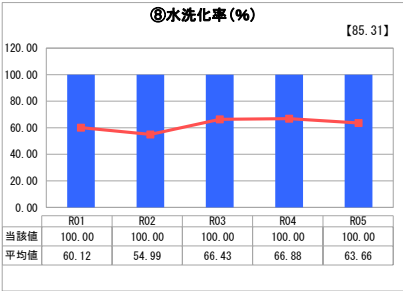
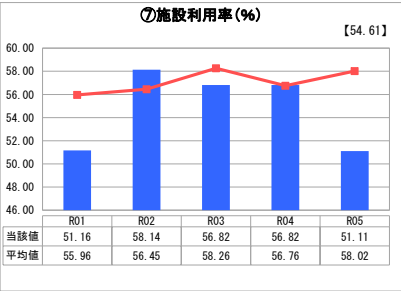
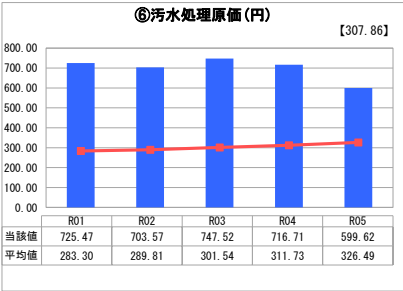
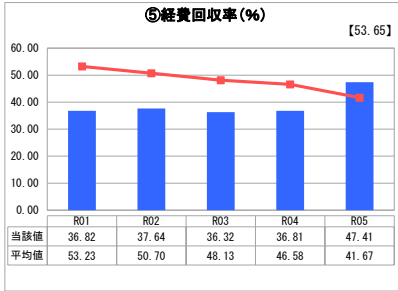
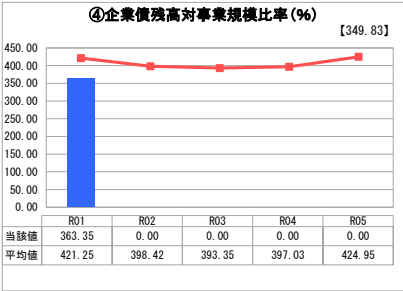
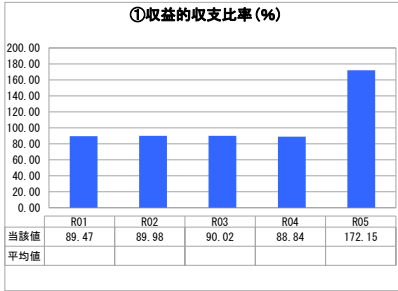
2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
市町村整備型浄化槽整備事業の開始から10年程度であるため該当はないが、今後20から30年後に浄化槽が耐用年数を経過し始めるので、維持管理費の増大を見据えて、経費の節減と計画的な維持管理がより一層必要となる。

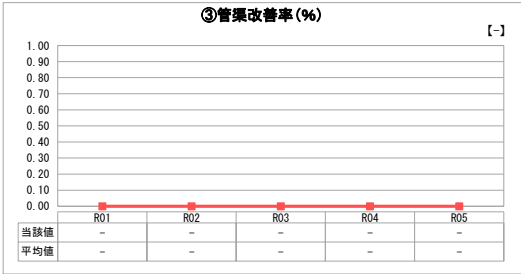
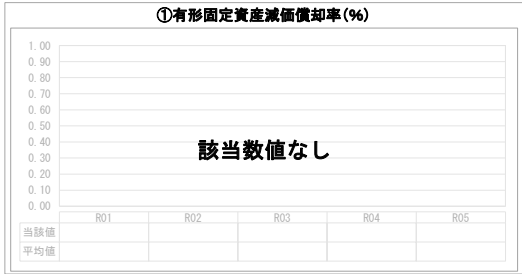
全体総括

令和5年度は打ち切り決算であったことを要因として、費用などが大幅に減少したことから、収益的収支比率及び経費回収率が増加となった。今後は浄化槽の老朽化に伴う維持管理費の増大も見据え、計画的に安定した事業運営ができるよう努めていく。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。